

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-316629

(P2000-316629A)

(43)公開日 平成12年11月21日 (2000.11.21)

(51)Int.Cl.

A 45 D 29/00
// A 45 D 20/10

識別記号

F I

A 45 D 29/00
20/10

マーク*(参考)

3 B 0 4 0
Z

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平11-128790

(22)出願日 平成11年5月10日 (1999.5.10)

(71)出願人 595143506

株式会社マツバラ
大阪府羽曳野市河原城806-1

(72)発明者 松原 福四

大阪府羽曳野市河原城806-1 株式会社
マツバラ内

(74)代理人 100101823

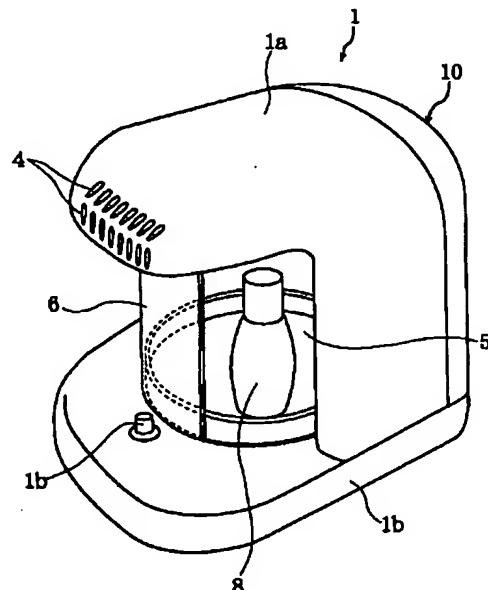
弁理士 大前 要
Fターム(参考) 3B040 CA01

(54)【発明の名称】 卓上型のネイルドライヤー

(57)【要約】

【課題】各種カラーのネイルエナメル、ネイルコート材等を用いるネイルケア及びネイルアートに際して、ネイルケアを手際良く、短時間で行い、そのネイルドライヤーの一部を用いて、ネイルケアに使用する瓶等を、外側から見える状態で纏めて収納、管理できるようにすること。

【解決手段】本体1に電気ヒーター2とプロワー3とを備えた卓上型のネイルドライヤーで、前記本体1の上部基体1aに電気ヒーター2とプロワー3とを内蔵し、且つ温風を吹き出す吹き出し口4を設け、上部基体1aと卓上に定置させる下部基体1bとの間に収納部5を設け、該収納部5を開閉する透明又は半透明の薄板状の開閉扉6を、前記本体1の前面に位置させて設けてある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】本体1に電気ヒーター2とプロワー3とを備え、温風を吹き出すように構成された卓上型のネイルドライヤーであって、

前記本体1の上部基体1aに前記電気ヒーター2とプロワー3とを内蔵させると共に温風を吹き出す吹き出し口4を設け、

該吹き出し口4のある上部基体1aと卓上に定置させる下部基体1bとの間にネイルケア備品を収納する収納部5を設け、

該収納部5を開閉する透明又は半透明の薄板状の開閉扉6を、前記本体1の前面に位置させて設けてある、卓上型のネイルドライヤー。

【請求項2】前記収納部5を略円筒状に構成し、前記開閉扉6を横断面視で略半円形に構成し、且つ、その半円形の中心を回転軸として、前記開閉扉6を上部基体1aと下部基体1bとの間で摺動して回転自在となるように設けられ、この開閉扉6の回転操作によって前記収納部5を開閉するように構成してある、請求項1の卓上型のネイルドライヤー。

【請求項3】前記下部基体1bには、前記開閉扉6の底部を案内する案内溝7が設けられると共にその開閉扉6の底部を案内するガイドリブ8が前記開閉扉6の底部に内接する状態で設けられ、且つ、前記開閉扉6の内面には、前記ガイドリブ8の上端に向けて規制突片9が突出形成されている、請求項1又は2の卓上型のネイルドライヤー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、家庭用のネイルドライヤーに関し、更に詳しくは、本体に電気ヒーターとプロワーとを備え、温風を吹き出すように構成された卓上型のネイルドライヤーに関する。

【0002】

【従来の技術】従来においては、美爪料としての一般的マニキュアは勿論のこと、最近に流行のネイルアートと称して爪を飾る種々のカラーのネイルエナメルや透明なネイルコート材、或いは、これらを除去する除光液、また、紋様を付けるステッカー（シール）等が使用されている。このようなネイルケアとして爪に塗布すマニキュア等の薬剤は揮発性溶剤を含むもので、重ね塗りや多色塗布を行う場合には、下地塗りが乾燥していかなければならず、従って、手際良くネイルケアするためには、前記溶剤を早期に蒸発させてやらねばならない。

【0003】こうしたネイルエナメル等の乾燥方法は、一般には、息を吹き掛けるものであるが、面倒であるとこから、温風乾燥を行うネイルドライヤーが提案され、使用されてきている。この種のネイルドライヤーは、実質的にヘアードライヤーと同じで（兼用するものもある）、基本的にはプロワー（ファン）で生起させた風を

電気ヒーターで加熱し、温風として吹き出す構成を備えている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述したネイルドライヤーは、ヘアードライヤーと同じで、ハンディタイプのものである。即ち、ネイルケアに際し、ネイルエナメル等を乾燥させようとすると、片方の手でネイルエナメルの刷毛を持ち、他方の手の爪に塗布し、その後に、刷毛を手放してネイルドライヤーに持ち替え、その手の爪に温風を当てて乾燥を行うことになる。

【0005】従って、一本の指の爪を塗り終わっても、ネイルドライヤーに持ち替えない限り、これに温風を当てることは出来ず、五本の指の爪を塗り終わってから、刷毛をネイルドライヤーに持ち替えて乾燥させることになるが、この場合、五本の指の爪を塗り終わるまでに時間がかかると共にその後に始めた温風乾燥にも時間がかかることになり、手際良く短時間でケアで難いという問題がある。

【0006】殊に、ネイルエナメルの塗りとコート材の

20 塗り、或いは、五指に塗布した後に、これを二度塗り、三度塗りするという場合には、夫々乾燥した後に行うことになるから、それだけ時間を長く必要とすることになり、片手に刷毛を持っている以上、頻繁に刷毛とネイルドライヤーを持ち替えない限り、この間に強制的に温風乾燥させることが出来ない。

【0007】一方、こうした除光液の瓶、各種カラーのネイルエナメル、コート材の瓶は、これを化粧台の一部に載せておくのが普通であるが、複数カラーのネイルエナメルやコート材は瓶数を多くし、一箇所に集めておかないと他の化粧品の邪魔になるし紛らわしいことになり、また、他の化粧品と混じってかたづけたりすると、ネイルケア時に探さなければならず、不便である。

【0008】本発明は、このような従来技術の課題に鑑み、マニキュア等を用いるネイルケア及びネイルアートに際して、両手をフリーとして、一方の手でマニキュア等を持ち、他方の手の爪にマニキュアを施しながら温風によって素早く乾燥させ、全体としてネイルケアを効率良く、短時間で行い得るようにしながら、そのネイルドライヤーを用いて、マニキュア、ネイルラッカー等のネイルケアに使用するものを、外側から見える状態で纏めて保管、収納し、必要に応じて取り出して便利に利用できるようにすることを目的とする。

【0009】本発明は、このような従来技術の課題に鑑み、各種カラーのネイルエナメル、ネイルコート材等を用いるネイルケア及びネイルアートに際して、両手をフリーとして、一方の手で刷毛等を持ち、他方の手の爪にマニキュアを順次施しながら温風によって素早く乾燥させ、全体としてネイルケアを手際良く、短時間で行い得るものでありながら、そのネイルドライヤーの一部を用いて、ネイルエナメル、ネイルコート材等のネイルケア

に使用する瓶等を、外側から見える状態で纏めて収納、管理し、必要に応じて取り出して便利に利用できるようにすることを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明にかかる卓上型のネイルドライヤーは、上記目的を達成するために、本体1に電気ヒーター2とプロワー3とを備え、温風を吹き出すように構成された卓上型のネイルドライヤーであって、前記本体1の上部基体1aに前記電気ヒーター2とプロワー3とを内蔵させると共に温風を吹き出す吹き出し口4を設け、該吹き出し口4のある上部基体1aと卓上に定置させる下部基体1bとの間にネイルケア備品を収納する収納部5を設け、該収納部5を開閉する透明又は半透明の薄板状の開閉扉6を、前記本体1の前面に位置させて設けてある、という手段を講じた。

【0011】本発明において、前記収納部5を略円筒状に構成し、前記開閉扉6を横断面視で略半円形に構成し、且つ、その半円形の中心を回転軸として回転させることで前記収納部5を開閉するから、外側からは広角で半円形のショーケースの如き状態の内部を見渡すことができて、ネイルエナメル等の各瓶の全体を容易にを目視でき、その回転式の開閉動作で、観音式の扉のように、開閉に際して扉が前方に突出して乾燥中の手の邪魔になることもなく、或いは引き戸のように狭い範囲（前面幅の1/2）の開口となるといった不都合もなく、広い開口を得てように内部の瓶を取り出すことができる。

【0012】本発明において、前記下部基体1bには、前記開閉扉6の底部を案内する案内溝7が設けられると共にその開閉扉6の底部を案内するガイドリブ8が前記開閉扉6の底部に内接する状態で設けられ、且つ、前記開閉扉6の内面には、前記ガイドリブ8の上端に向けて規制突片9が突出形成されているのがこのましい。

【0013】

【発明の実施の態様】本発明によれば、ネイルドライヤーを卓上型として、定置させた状態で温風を吹き出すことができるので、片方の手でネイルエナメル等の刷毛を持ち、もう一方の手の各爪にネイルエナメル順次塗りながら、その温風を当てることができるので、このネイルケアを単時間で手際良く行い得る。

【0014】また、各爪にネイルエナメル順次塗って行くと、直ぐに乾かすことができるので、二度塗りを行うにも、従来のように各爪を塗り終わって刷毛をネイルドライヤーに持ち替え、乾燥を行った後に再び刷毛と交換して二度目の塗りを行わなければならないといった煩わしさがなく、手短に、楽に二度塗りが行い得る。

【0015】他方、卓上型のネイルドライヤーの本体の一部に収納部が設けられていることで、最近になって各種カラーのネイルエナメルやコート材或いはステッカー（花柄、星形等の意匠観のシール）等、多数のものがアート用として出回っており、こうした瓶等を一箇所に収納でき、化粧台等においても、他の化粧品瓶等との混同もなく便利に使い分けできると共に本体の前面の透明乃至半透明の開閉扉6に、これらの瓶の状況が一目で判り、使用に際して便利に出し入れして用いることがで

きる。

【0016】また、前記収納部を略円筒状に構成し、前記開閉扉を横断面視で略半円形に構成し、且つ、その半円形の中心を回転軸として回転させることで前記収納部5を開閉するから、外側からは広角で半円形のショーケースの如き状態の内部を見渡すことができて、ネイルエナメル等の各瓶の全体を容易にを目視でき、その回転式の開閉動作で、観音式の扉のように、開閉に際して扉が前方に突出して乾燥中の手の邪魔になることもなく、或いは引き戸のように狭い範囲（前面幅の1/2）の開口となるといった不都合もなく、広い開口を得てように内部の瓶を取り出すことができる。

【0017】更に、前記下部基体には、前記開閉扉の底部を案内する案内溝が設けられると共にその開閉扉の底部を案内するガイドリブが前記開閉扉の底部に内接する状態で設けられ、且つ、前記開閉扉の内面には、前記ガイドリブの上端に向けて規制突片が突出形成されていることで、開閉扉は、案内溝とガイドリブとその規制突片とで確実に案内されて、回転の開閉操作がスムース、且つ安定良く行うことができる。

【0018】

【実施例】本発明の卓上型のネイルドライヤーの好適実施例を、図面を参照して以下詳述する。図1は、卓上型のネイルドライヤーの全体の斜視図、図2は、全体の縦断側面図、図3は底面図、図4は回転扉の縦断側面図、図5は回転扉の横断面図である。

【0019】図1乃至図5に示すように、この卓上型のネイルドライヤーは、基本的には本体1に電気ヒーター2とプロワー3とを備え、温風を吹き出すように構成されたものであるが、ここでは、前記本体1の上部基体1aに前記電気ヒーター2とプロワー3とを内蔵させている。そして、この上部基体1aの前面に温風を吹き出す吹き出し口4を設け、且つ、該吹き出し口4のある上部基体1aと卓上に定置させる下部基体1bとの間にネイルケア備品を収納する収納部5を設けてある。

【0020】更に、前記収納部5を開閉する透明（内部が見える程度に半透明でもよい）の薄板状の開閉扉6を、前記本体1の前面に位置させて設けてある。前記収納部5は略円筒状に構成し、そして、前記開閉扉6を横断面視で略半円形に構成し、且つ、その半円形の中心を回転軸として、前記開閉扉6を上部基体1aと下部基体1bとの間に摺動して回転自在となるように設けられている。

【0021】このように、開閉扉6の回転操作によって前記収納部5を開閉するように構成してあるが、開閉がスムース、且つ安定良く行い得るように、前記下部基体1bには、前記開閉扉6の底部を案内する案内溝7が設けられると共にその開閉扉6の底部を案内するガイドリブ8が前記開閉扉6の底部に内接する状態で設けられ、且つ、前記開閉扉6の内面には、前記ガイドリブ8の上

端に向けて規制突片9が突出形成されている。

【0022】また、前記上部基体1a後面には空気採り入れ口10を設け、且つ、前記収納部5の背面に空室1を形成してある。上部基体1aに発生の温風によつて収納部5のネイルエナメル等が加熱されるのを、収納部5の後壁の空室1を介して間接的に冷却することが出来る。

【0023】図4及び図5は、上記回転扉6を示すが、6aは、開閉操作を行い易くするための把手である。また、図2において、下部基体1bの全部に上方に向けて突出するように設けられているスイッチは、温風操作スイッチ12であつて、この押しボタン操作で温風発生の入り切りを行う。

【0024】

【発明の効果】本発明かかる卓上型のネイルドライヤーによれば、各種カラーのネイルエナメル、ネイルコート材等のネイルケア及びネイルアートに際して、両手をフリーとして、一方の手でマニキュア等を持ち、他方の手の爪にマニキュアを施しながら温風によって素早く乾燥させ、また二度塗りに際しても時間を短縮した状態で手際良く行い得て、従来のハンディタイプに較べてネイルケアを効率良く、短時間で行い得ることが出来ながら、しかも、そのネイルドライヤーの一部を用いて、ネイルエナメル、ネイルコート材等のネイルケア備品を、外側から見える状態で収納、保管出来て、各瓶の存在、残存量を一目瞭然として管理出来ると共にこれを化粧台で使用してもその収納部を用いることで他の化粧品との混同を来すことなく、手際良く取り出して便利に利用できる利点がある。

【0025】本発明のその他の具体的効果については、上述した発明の実施の態様の項及び実施例の説明において詳述した通りである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の卓上型のネイルドライヤーの全体の斜視図である。

【図2】本発明の卓上型のネイルドライヤーの全体の縦断側面図である。

【図3】本発明の卓上型のネイルドライヤーの後部の要部背面図である。

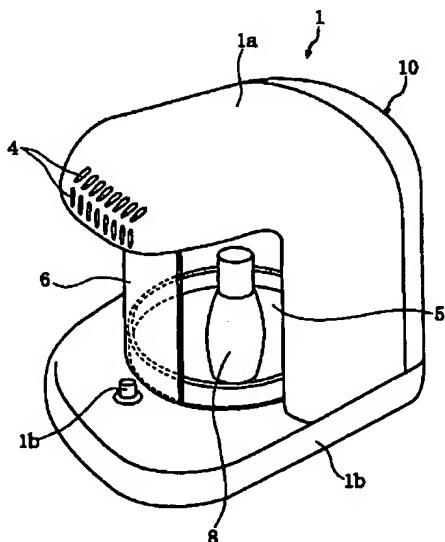
【図4】本発明の卓上型のネイルドライヤーの開閉扉の縦断側面図である。

【図5】本発明の卓上型のネイルドライヤーの開閉扉の横断面図である。

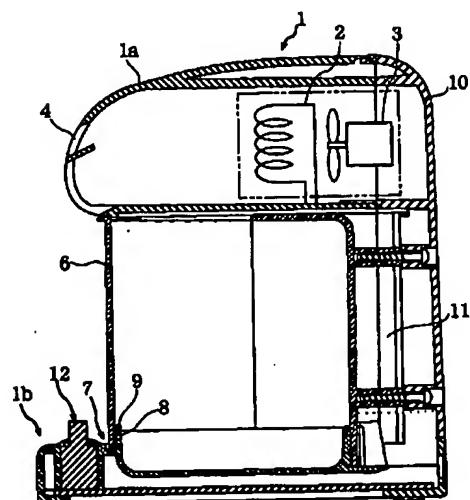
【符号の説明】

- 1 本体
- 1a 上部基体
- 1b 下部基体
- 2 電気ヒーター
- 3 プロワー
- 4 吹き出し口
- 5 収納部
- 6 開閉扉
- 7 案内溝
- 8 ガイドリブ
- 9 規制突片
- 10 空気採り入れ口
- 11 空気流路

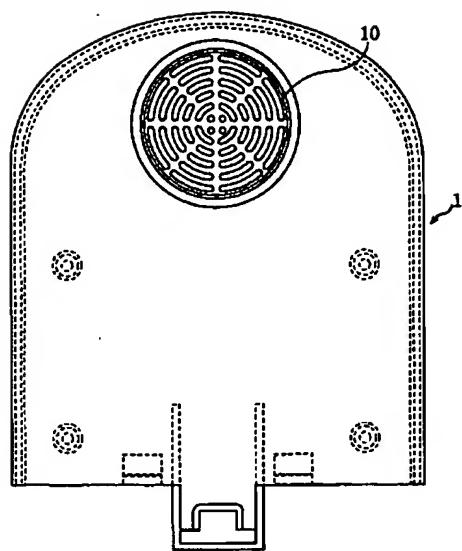
【図1】



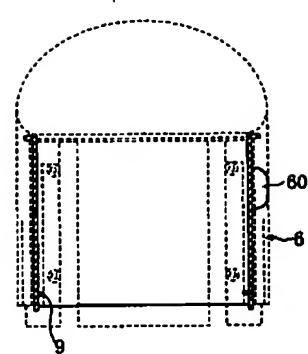
【図2】



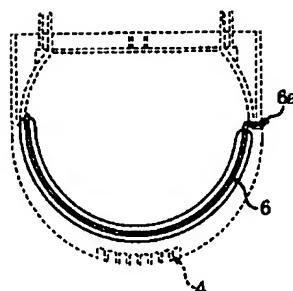
【図3】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP02000316629A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000316629 A
TITLE: DESK TOP TYPE NAIL DRIER
PUBN-DATE: November 21, 2000

INVENTOR- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUBARA, FUKUYO	N/A

ASSIGNEE- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUBARA: KK	N/A

APPL-NO: JP11128790

APPL-DATE: May 10, 1999

INT-CL (IPC): A45D029/00, A45D020/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable housing and managing of a bottle or the like used for the cleaning and beautifying of nails visible from outside in a package by using a part of a nail drier along with a highly skillful and shorter action in the cleaning and the beautifying of nails as art using nail enamels and nail coating materials of various colors.

SOLUTION: This desk top type nail drier has a body 1 equipped with an electric heater and a blower. The electric heater and the blower are built in an upper base body 1a of the body 1 while a blowoff port 4 is provided to blow hot air. A housing part 5 is provided between the upper base body 1a and a lower base body 1b fixed on a desk. A transparent or semitransparent sheet-like open/close door 6 is positioned on the front of the body 1 to open

or close the housing part 5.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO